

医療コミュニケーションを異文化コミュニケーションの視点で考えてみよう

灘光洋子 教授 (元立教大学異文化コミュニケーション学部, Ph.D.)

医療者と患者のコミュニケーション・プロセスにはどのような要素が絡んでいるのだろうか。様々な背景を持つ患者（外国人、高齢者など）を例に、医療の場におけるコミュニケーションを異文化コミュニケーションの視点から捉えてみたい。

略歴：元立教大学異文化コミュニケーション学部教授(Ph.D.)。専門は異文化コミュニケーション論。医療コミュニケーションにも関心が深い。



* 使用言語：英語・日本語。